トピックス

■兵庫県たつの市に新工場が竣工

兵庫県たつの市新宮町に新工場を建設し、この５月より稼働いたしました。新工場の事業内容について、三相電機グループ各社で行っていた機械加工を統合するとともに、一部外注加工先で行っていた機械加工の内製化を図り、業務は子会社である新宮三相電機株式会社が委託生産いたします。

新工場の稼働により、物流効率の改善や生産性の向上が図られます。

会社概況

（平成24年３月31日現在）

商　　号	三相電機株式会社
設　　立	昭和32年10月11日
資 本 金	８億7,160万円
従業員数	366名
事業内容	小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

株式の状況

（平成24年３月31日現在）

会社が発行する株式の総数	３６,０００,０００株
発行済株式の総数	９,１４３,２００株
株主数	６１８名
１単元の株式の数	１,０００株

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月開催
基準日	定時株主総会　毎年３月31日 期末配当金　毎年３月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目５番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町１番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	(0120)176－417
（URL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.sanso-elec.co.jp/japanese/koukoku
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所

三相電機株式会社
〒671-2288 兵庫県姫路市青山北一丁目１番１号
TEL(079)266－1200　FAX(079)266－1206
URL http://www.sanso-elec.co.jp/

株主のみなさまへ

第55期

株主通信

平成23年4月1日～平成24年3月31日

代表取締役社長　黒　田　直　樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2011年度（2011年４月１日から2012年３月31日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わりないご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成24年６月

三相電機株式会社

証券コード　6518

営業の概況

■業績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、東日本大震災やタイの洪水の影響により生産活動は低下するとともに長引くデフレ基調に加え、欧州債務問題に起因した円高や株安により、景気は非常に厳しい状況で推移してまいりました。

当社グループにおいては、当連結会計年度前半までは夏場の電力需給制限による前倒し注文に加え、前連結会計年度に落ち込んでいた工作機械向けの受注が増加するなど業績は回復基調となりました。しかしながら、当連結会計年度後半には回復基調であった受注状況は、欧州の政府債務危機や原油価格の上昇、これらを背景とした海外景気の下振れ等によって減少傾向へと転じました。特に好況であった半導体製造装置向けの受注は急激に減少したこともあり、受注変動の激しい状況となりました。

このような事業環境の中、お客様のタイトな納期要求にお応えし販売機会を損なわないために、新たな生産管理システムの構築により、短納期対応を図っております。また鉄鋼材や非鉄鋼金属、原油価格が上昇する中で、生産性の向上やグローバルな部品調達を積極的に進めるなどコストダウンを実施し、業績回復に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は121億82百万円（前期比118.8%）、営業利益は４億54百万円（同140．6%）、経常利益は４億59百万円（同170．1%）となりました。また、当期純利益は、退職給付制度の変更に伴い１億７百万円の退職給付制度改定益を特別利益に計上したことにより、５億７百万円（同248.3%）となりました。

■今後の取り組み

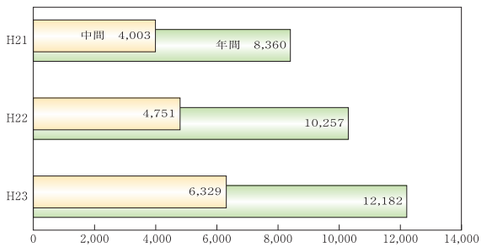
今後の業績の見通しといたしまして、海外経済の改善や東日本大震災からの復興需要などにより、景気回復の期待がもたれますが、為替変動や電力の供給不足により国内生産の空洞化が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明感が払拭できない状況で推移するものと考えられます。

当社グループにおいても、企業競争力の強化を目的に、国内外での生産の最適化を推し進めるために、国内の生産拠点の再編をはじめ、海外企業との業務提携により海外での現地生産の強化を行うなど、大きく事業の改革を進めてまいります。なお、国内の新工場再編に伴い、設備の稼動休止や移設費用の計上などにより、一時的に生産の減少や費用の増加が見込まれます。

連結業績の概要

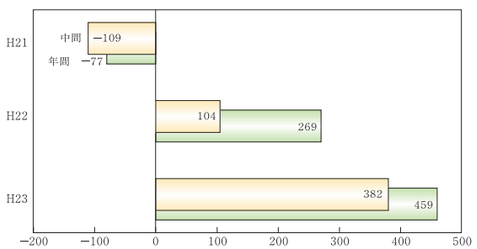
売上高

（単位：百万円）



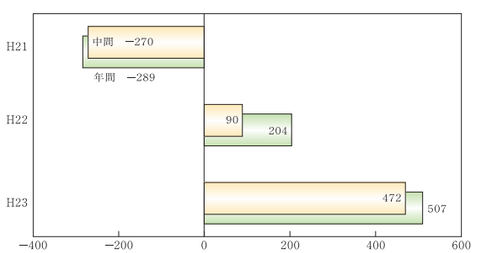
経常利益

（単位：百万円）



当期純利益

（単位：百万円）



要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	（平成24年３月31日現在）
資産の部	
流動資産	6,840
固定資産	3,165
有形固定資産	2,155
無形固定資産	80
投資その他の資産	928
資産合計	**10,005**
負債の部	
流動負債	3,121
固定負債	1,170
負債合計	**4,292**
純資産の部	
株主資本	5,733
資本金	871
資本剰余金	1,825
利益剰余金	3,075
自己株式	△39
その他の包括利益累計額	△20
その他有価証券評価差額金	△45
為替換算調整勘定	25
純資産合計	**5,713**
負債純資産合計	**10,005**

要約連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	（自 平成23年４月１日 至 平成24年３月31日）
売上高	12,182
売上原価	10,052
売上総利益	2,130
販売費及び一般管理費	1,675
営業利益	454
営業外収益	32
営業外費用	28
経常利益	459
特別利益	112
特別損失	75
税金等調整前当期純利益	495
法人税、住民税及び事業税	12
法人税等調整額	△23
当期純利益	507